

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県加西市 加西病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	18	対象	ド訓	救 臨 感 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
41,455	19,166	非該当	非該当	10：1

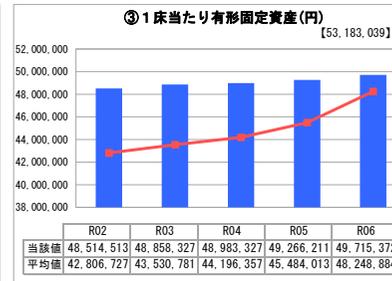
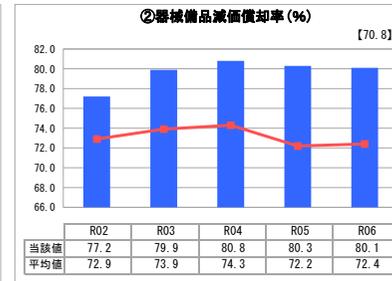
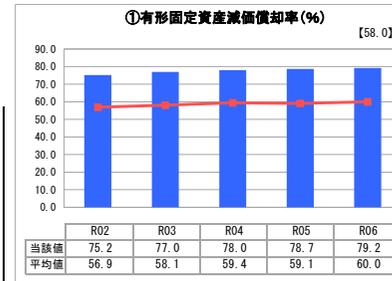
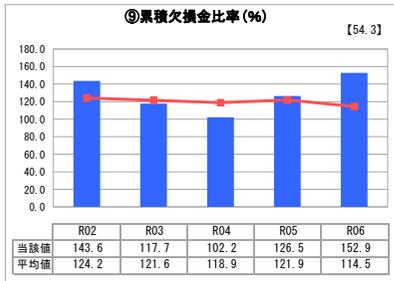
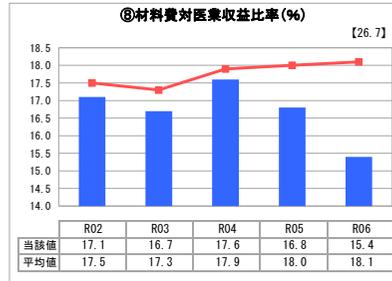
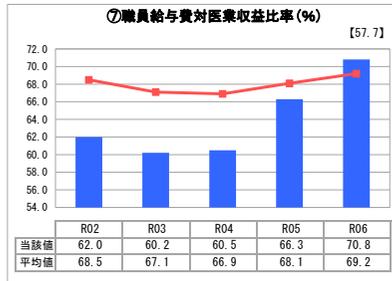
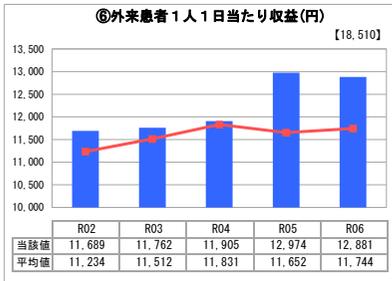
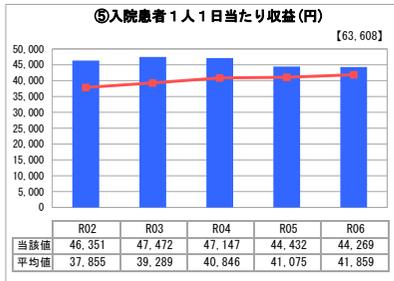
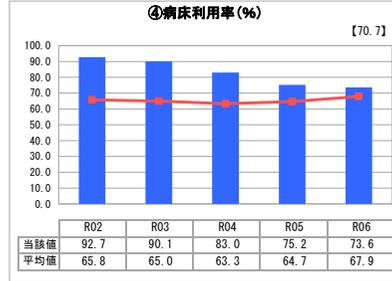
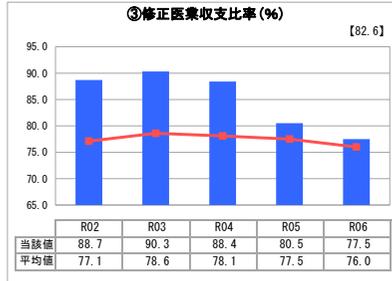
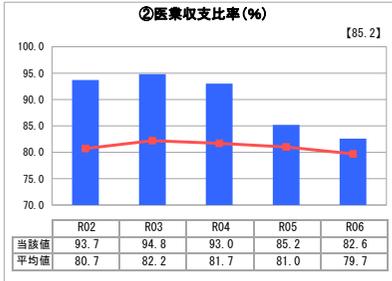
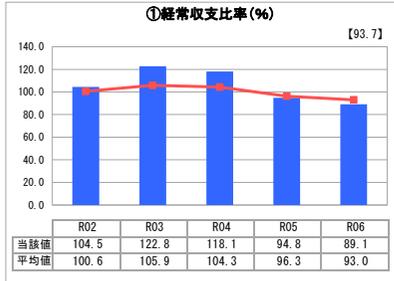
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
193	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	199
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
169	-	169

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
[ ] 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の組織・ネットワークを基に)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

市立加西病院は、市内唯一の急性期病院として、二次救急医療を担いながら、地域住民が安心して暮らしているために欠かせない医療を提供する中核的な役割を果たしています。また、北播磨医療圏域における第2種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症などの新興感染症に対し、発生当初から迅速かつ積極的に対応してきました。

近年、近隣地域で基幹病院の開院が相次ぎ、医師や患者の流出が進む中、当院の役割は急性期医療から回復期医療へと変化しています。これに対応するため、病院の段階的なダウンサイジングを計画している中でも回復期病床は維持し、北播磨医療圏で不足している回復期病床を補充しています。さらに、基幹病院や施設、診療所との連携を深めながら、地域医療を支える体制を充実させ、幅広い患者の受け入れに努めています。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

市立加西病院では、患者数の減少を受け、令和2年度に許可病床数を260床から199床へ縮小（一般病床254床から193床、感染症病床6床は維持）し、経営の健全性と効率化を図りました。しかし、令和6年度には内科、外科、眼科、泌尿器科の医師各1名と臨床研修医3名の退職により医業収益が減少し、特に外来収益が大きく落ち込みました。一方、人事院勧告による給与増が費用面に影響し、職員給与と費対医業収支比率が4.5ポイント、経常収支比率が5.7ポイントそれぞれ悪化しました。

### 2. 老朽化の状況について

当院の有形固定資産については、耐用年数を経過した器械備品等であっても保守点検や修繕を重ねることで性能を維持しており、減価償却率は類似病院と比較して高い傾向にあります。一方で、老朽化が進む施設への設備投資に関しては、検討中の新病院建設計画の進捗状況を考慮し、新病院の規模や機能を慎重に判断した上で、過大な投資を避け、必要最小限に抑える方針です。老朽化の対応と持続可能な運営の両立を図るため、計画的かつ適切な設備投資に努めてまいります。

## 全体総括

医業収益に関しては、常勤医師7名の退職に伴い、非常勤医師の派遣を受けながら診療維持に努めましたが、患者数の減少により大幅な減少となりました。一方、医業費用については、前年度同様職員数の適正化を進めましたが、人事院勧告の影響により職員給与が増加しました。また、材料費や経費は物価や人件費の高騰による影響を受けたものの、患者数減少などの要因により昨年度より減額となりました。

来年度は、医業収益の確保に向けて近隣の基幹病院や施設との連携をさらに強化し、入院患者増加を図ることで収益の向上を目指します。また、医業費用に関しては、引き続き職員退職者の不補充による適正な人数管理や委託費の見直しを通じて経費削減に取り組み、将来の医療需要予測およびそれに応じた病床数への対応を踏まえて、当院の役割を明確化しながら経営の健全化を進めてまいります。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。